

License Server Setting Guide

Flexera ライセンスサーバー設定ガイド

目次

1 設定を始める前に.....	2
2 Flexera ライセンスサーバーの設定.....	3

1 設定を始める前に

Flexera ライセンスサーバーがサーバーPC にインストールされていて、Simulations Plus 製品のライセンスファイル（ここでは LicenseFile.lic とします）をすでにお持ちである必要がありますので、ご確認ください。

ライセンスサーバーの設定で使用される 3 つのポートと、デフォルトまたは推奨される番号を以下に示します。これらは開かれていなければなりません。ポート番号がぶつかるような場合は別の番号をアサインする必要があります。

ライセンスサーバーhttp ポート： 8090

ライセンスサーバーポート： 27000 （27000~27009 の間での自動設定も可能です）

ベンダーデーモンポート： 49602

注意）製品ソフトウェアのバージョンアップについては、そのライセンスがすでに有効であれば、ライセンスサーバーへの再設定は不要です。クライアント PC での製品ソフトウェアのアップデートのみで新バージョンがご利用いただけます。

2 Flexera ライセンスサーバーの設定

ライセンスサーバーの設定を以下の手順で行います：

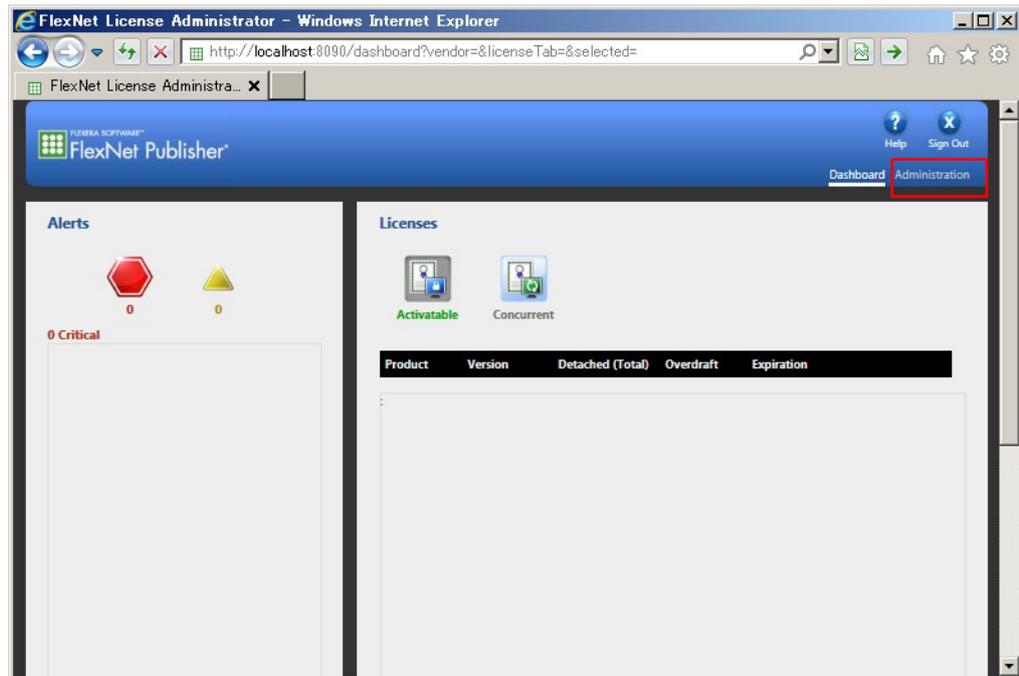
- ステップ 1～4： Flexera ライセンスサーバーへのログイン
- ステップ 5～8： ライセンスファイルのインポート（読み込み）
- ステップ 9～13： ベンダーデーモンの起動、設定
- ステップ 14： ライセンス状況の画面確認

ステップ 1. サーバ PC 上で、IE などのブラウザから Flexera ライセンスサーバーにアクセスします：

http://localhost:8090/

ライセンスサーバーの設定作業は、必ずライセンスサーバー PC 上で行ってください。URL 指定でリモートでも情報閲覧は可能ですが、Administer に関する部分で一部利用できない機能があるためです。アクセスすると以下の画面が表示されます。画面右上にある **Administration** タブ(赤い枠)をクリックします。

注)ライセンスサーバー PC 以外の PC から URL 指定でリモートにより、**http://hostname:8090/** を指定してサーバー PC にアクセスすることは可能です。ここで、hostname は、ライセンスサーバーのコンピューター名です。この場合、サーバー情報や稼働状態の閲覧が可能ですが、デーモンの停止や起動など一部利用できない機能があります。そのため、ライセンスサーバーの設定作業は、必ずライセンスサーバー PC 上で行ってください。

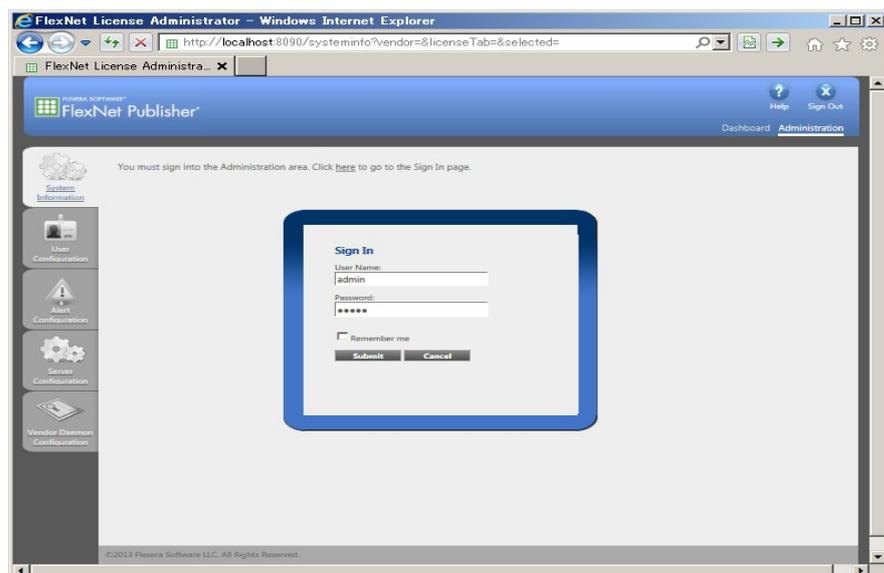


ステップ 2. Flexera ライセンスサーバーにログインします：

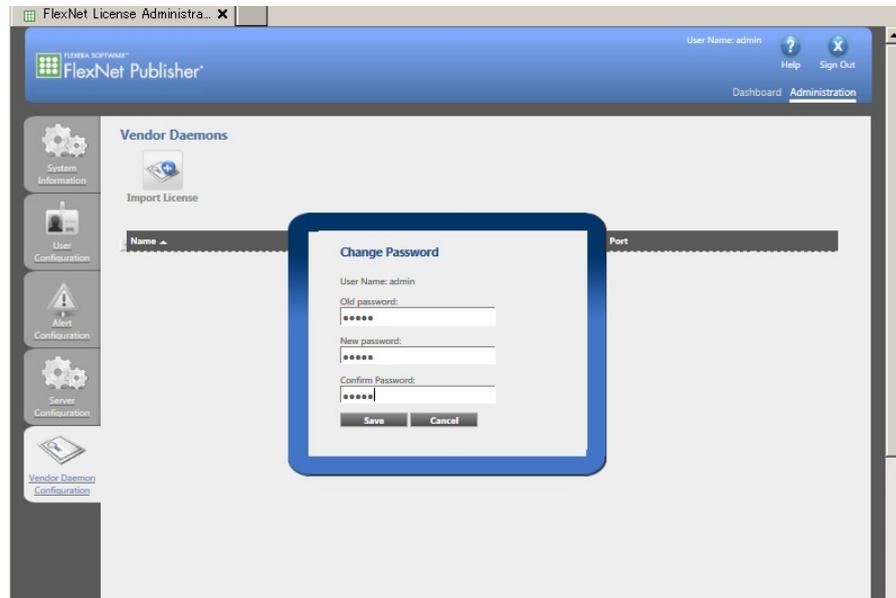
画面右上にある Administration タブをクリックし、username と password を入力し、**Submit** をクリックします。

デフォルトの username: **admin**

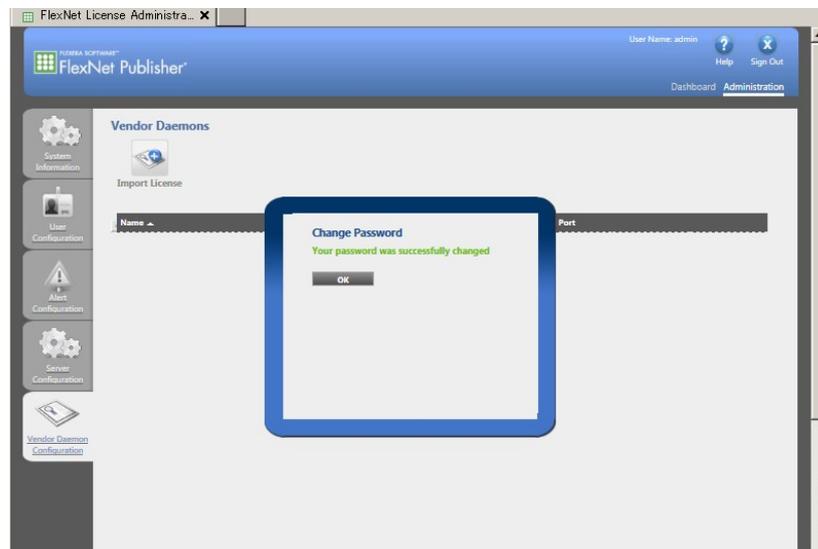
デフォルトの password: **admin**



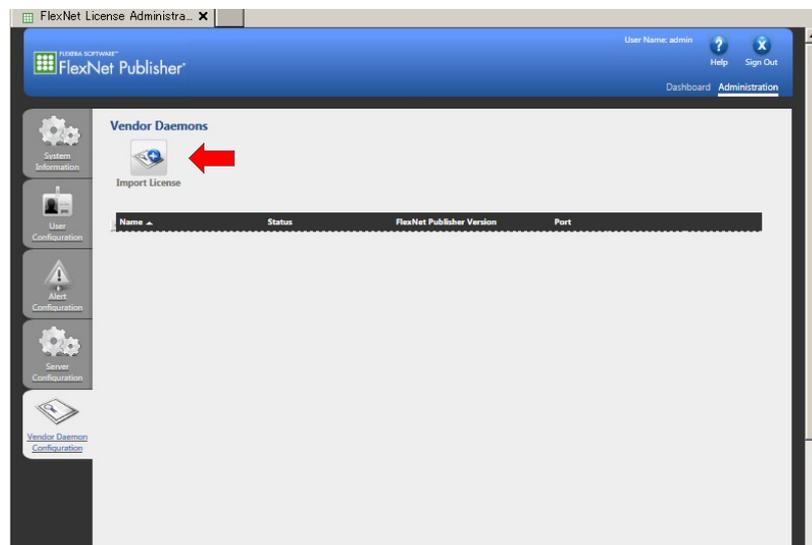
- ステップ 3. ログインしたら、パスワードを変更するよう指示されますので、元のパスワード (admin) と新しいパスワードを入力して、**Save** をクリックします。ここでは、新しいパスワードと元のパスワードが同じであっても受け付けます。



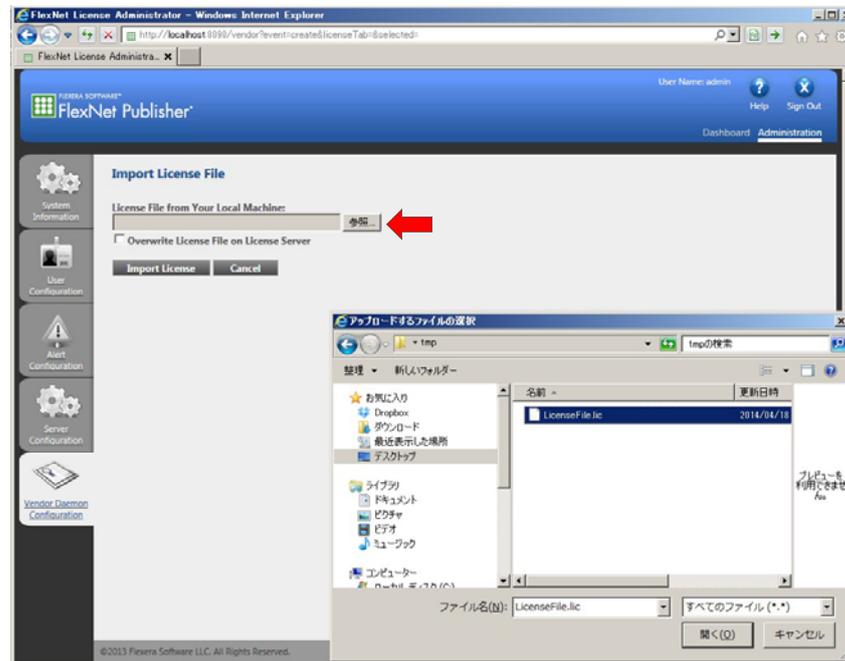
- ステップ 4. パスワードの変更に成功したメッセージが表示されますので、**OK** をクリックします。
これでログインが完了します。



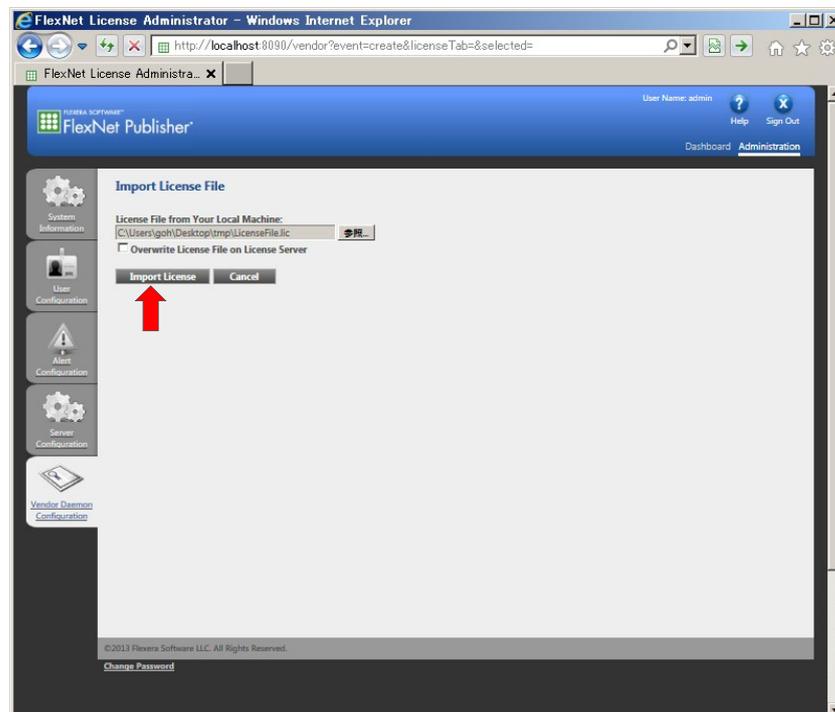
- ステップ 5. 弊社からお送りしたライセンスファイルをインポートします。
画面左の一番下にある Vendor Daemon Configuration タブをクリックした後、**Vendor Daemon** の下にある **Import License** ボタン（矢印）をクリックします。



ステップ 6. **Browse (参照)** ボタンをクリックし、開いたウィンドウから、弊社からお送りした LicenseFile.lic を選び、**Open (開く)** をクリックします。



ステップ 7. ライセンスファイルへのパスが入力されますので、**Import License** ボタンをクリックします。



注意) チェックボックス **Overwrite License File on License Server** は、ライセンスファイルの上書き時のみに使用しますのでここではチェックを入れません。

ステップ 8. 2つのメッセージ、

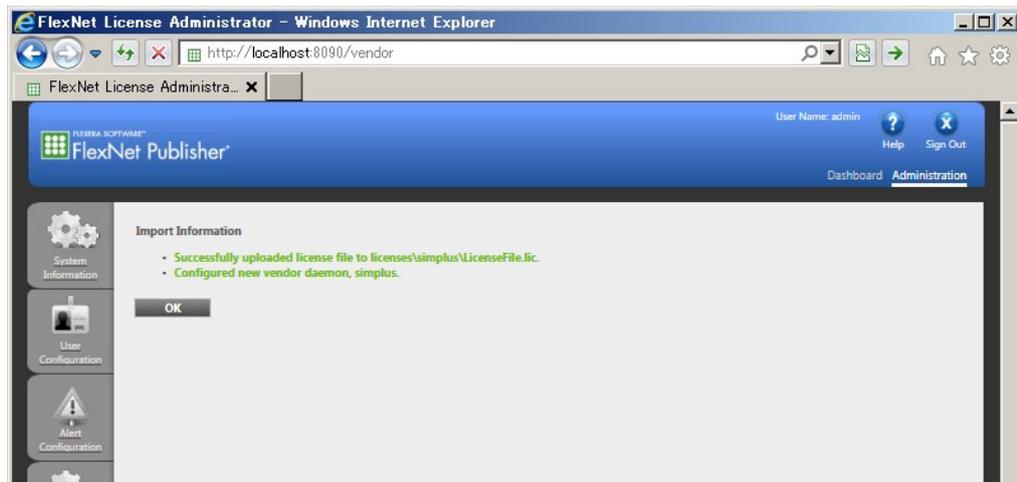
(1) ライセンスファイルアップロードの成功

Successfully uploaded license file to licenses\simplus\LicenseFile.lic

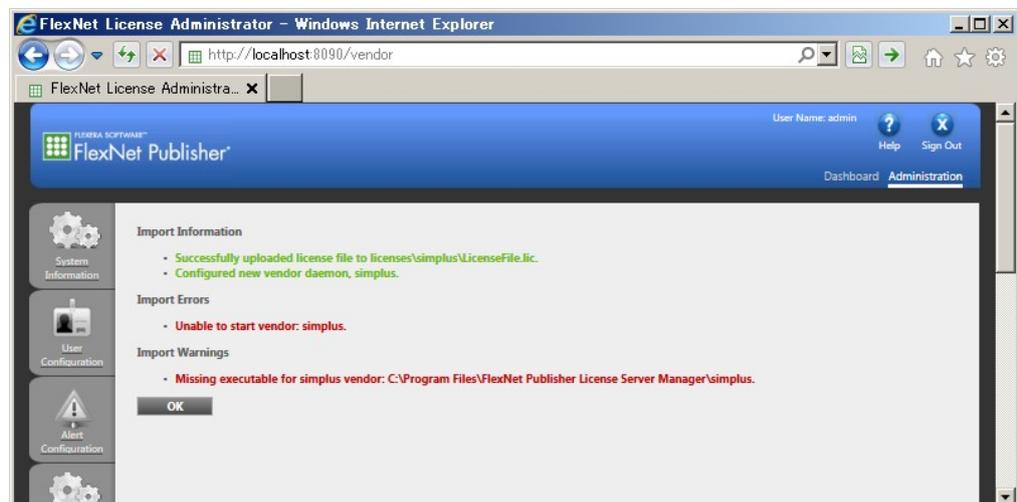
(2) ベンダーデーモン設定の完了

Configured new vendor daemon, simplus

のみが黄緑色のフォントで表示されますので、**OK** をクリックします。

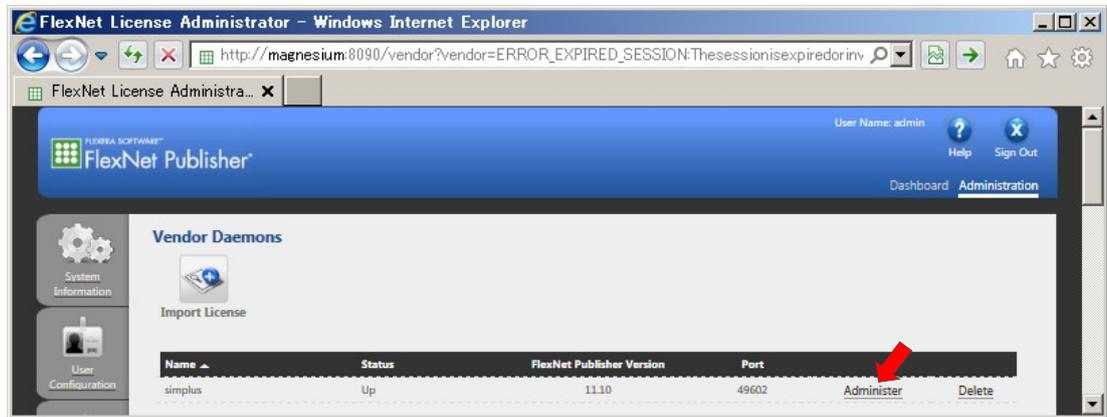


もし、下の図のように、この段階でエラーが発生した場合は、ライセンスファイル内容の間違いやその他の原因が考えられます。弊社までご連絡ください。



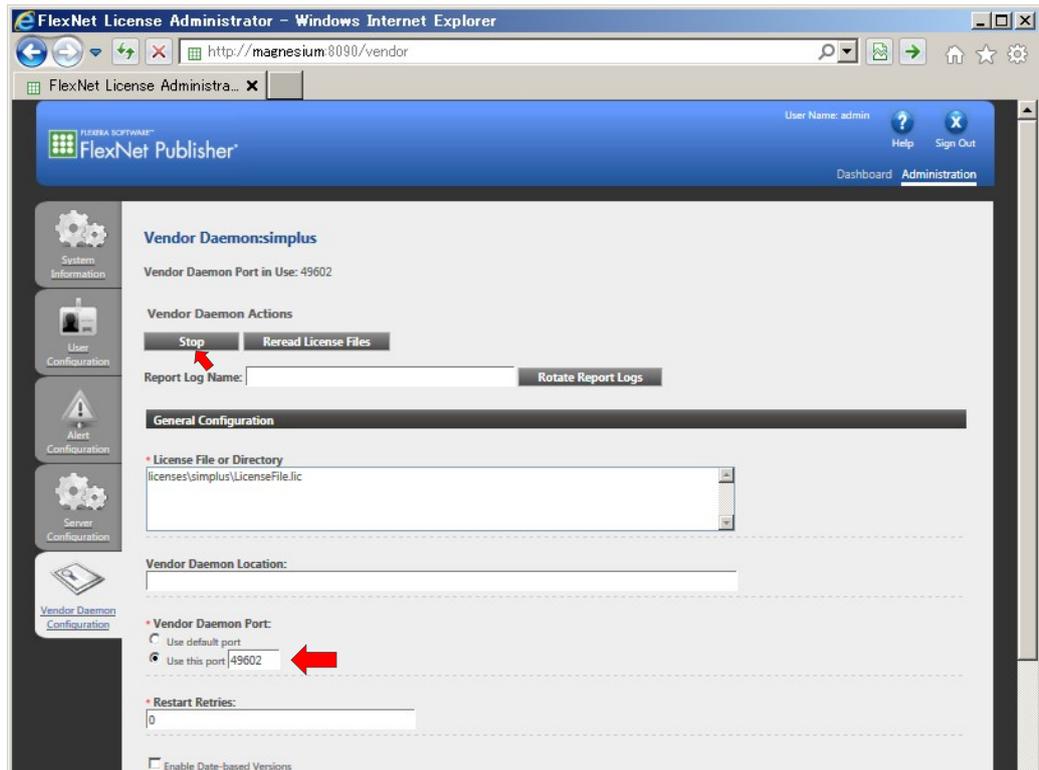
ステップ 9. **simpplus** デーモン **Status** が **Up** になっていることが確認できます。**Administration** のページであることを確認して、以下の矢印の、**Administer** をクリックしてポート番号の割り当てへ移動します。

ポート番号は動的な割り当てでも選べるようですが、確実のため、ここでは固定の番号を設定します。



ステップ 10. 次の図のように、**Use this port** と書かれたラジオボタンをクリックし（大きな矢印）、値を **49602** に設定します。ポート番号がぶつかる場合、IT 部門の方は別の番号を選ぶかもしれませんが、いずれにしても、ベンダーデーモンのポートは、**固定で割り当ててください**。ここが **Use default port** になっていることによるトラブルがたびたび発生しています。必ず **49602** を指定してください。

Vendor Daemon Log の下にある **Save** をクリックします。次いで、ベンダーデーモンの停止と再起動を行い、変更を認識させます。**Vendor Daemon Activities** の下にある **Stop**（小矢印）をクリックします。



ステップ 11. **Administer** をクリックして、ベンダーデーモンを再起動する処理を行います。



ステップ 12. 切り替わった画面から、**Start** をクリックします。



ステップ 13. ブラウザを更新（F5 キーを押して）し、ポート **49602**（以下の赤枠）が割り当てられていることを確認します。

ブラウザ更新前：



The screenshot shows the 'Vendor Daemons' section of a web interface. On the left, there are navigation tabs for 'System Information' and 'User Configuration'. The main content area displays 'Starting vendor daemon: simplus' with a green status message and an 'Import License' button. Below this is a table with the following data:

Name ▲	Status	FlexNet Publisher Version	Port		
simplus	Starting Up	0.0	-1	Administer	Delete

ブラウザ更新後：



The screenshot shows the 'Vendor Daemons' section after a browser refresh. The status has changed to 'Up' and the port is now '49602', which is highlighted with a red box. The 'Import License' button is still present. The table data is as follows:

Name ▲	Status	FlexNet Publisher Version	Port		
simplus	Up	11.10	49602	Administer	Delete

ステップ 14. ウィンドウ右上部にある **Dashboard** リンク（赤枠）をクリックします。

Licenses アイコンの下にある **Concurrent** をクリックして、どのモジュールがライセンスされているのかを確認できます。（以下の図は弊社での例）。ライセンスされているモジュール、バージョン、使用中のライセンス数、利用可能ライセンス数、使用期限が表示されますので、表示されているライセンスがご契約内容と一致しない場合は、弊社までご連絡ください。

Feature	Version	In Use (Available)	Expiration
AP_METABOLISM	6.5	1 (2)	3-FEB-2015
AP_MODELER	6.5	1 (2)	3-FEB-2015
AP_PHYS_CHEM_BIOL	6.5	1 (2)	3-FEB-2015
AP_SIMULATION	6.5	1 (2)	3-FEB-2015
AP_TOXICITY	6.5	1 (2)	3-FEB-2015
MD_ADMETPREDICTOR	2.5	0 (2)	3-FEB-2015
MS_ADMETPREDICTOR	3.5	0 (2)	3-FEB-2015
MS_APMODULE			

以上でライセンスサーバーの設定は終了です。この段階で、クライアント PC からライセンスサーバーにアクセスが可能であり、製品ソフトウェアを利用できるようになります。

お問い合わせ先： ノーザンサイエンスコンサルティング株式会社
〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1-47 ノース 33 ビル
Tel 011-223-7456 Fax 011-223-7457
<http://www.northernsc.co.jp/>
Email: nsc_support@northernsc.co.jp

(2015.05.12 更新)